

会告 No.2

2025

◇通知・案内事項

○第90年会開催案内 「一般研究発表」講演募集「シンポジウム」企画募集 本号4ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2025)	(2026)
◇年会	3/12～14(東京理科大学)	
◇秋季大会		
◇支部大会		
◇学生発表会	3/8(オンライン)	

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会告ページ
2025年2月 February			
4	山口地区化学工学懇話会2024年度 第84回講演会・見学会(山口県)	1月22日(水)	1号7
6～7	「モデリング技術の基礎と実践」講座(2/6-7)(東京都)	1月29日(水)	11号10
6～7	GMPセミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向：講演&見学会」(大阪府ほか)		12号9
13	2024年度コンビナート講習会「進化する現場：デジタルソリューションの実装と課題」(ハイブリッド開催)	1月14日(土)	1号7
13	化学装置材料部会 公開講座(東京科学大学, オンライン)	2月6日(木)	本号11
20	第127回東海技術サロン「ネイチャーポジティブと2030年より先の未来のために科学は何ができるのか」(愛知県&オンライン)	2月14日(金)	本号10
26	エレクトロニクス部会2024年度第6回定期講演会～量子コンピュータ/NANOBIIC見学会付き～(新川崎創造のもり+オンライン)		本号11
2025年3月 March			
3～11	「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計編(3/3, 4, 10, 11)(オンライン)	2月21日(金)	本号8
8	第27回化学工学会学生発表会(オンライン)	2月14日(金)	本号8
10	第32回 イブニングセミナー「再生可能エネルギーとしてのアンモニア利用技術の開発最前線」(オンライン)	2月28日(金)	本号9
12～14	化学工学会第90年会(3/12-14)(東京都)		本号4
2025年4月 April			
22～24	「化学プラントの装置材料技術」講座(4/22-24)(オンライン)	4月14日(月)	本号8
2025年8月 August			
28～29	第59回化学工学の進歩講習会・2025年度ミキシング夏期セミナー「攪拌・混合技術の操作・設計基礎と最新情報」(愛知県)(8/28-29)	8月8日(金)	本号10

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
6月30日～7月4日	14th World Filtration Congress (第14回世界濾過会議)(WFC14)(6/30-7/4)(Bordeaux, France)	10月15日(火)	8号8
10月27～30日	第7回革新的エネルギー材料・プロセス国際会議 The 7th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems (IMPRES2025)(10/27-10/30)(宮城県)	2月21日(金)	1号6

◇共催・協賛行事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号 (FAX) E-mail, URL
2024年度化学人材育成プログラム協議会(東京都他)	2024年4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html
技術英語能力検定(令和六年度)(主催者が設定する全国の試験会場)	2024年4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本 能率協会	03-3434-1955 jstc@jma.or.jp https://jstc.jma.or.jp/
第191回講演会 FRPの研究動向とアプリケーション事例(東京都とオンラインの併用)	2月4日(火)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-5436-9698) office@jspp.or.jp http://www.jspp.or.jp
革新的CO ₂ 分離回収・有効利用技術シンポジウム(東京都, オンライン)	2月5日(水)	公益財団法人地球 環境産業技術研究 機構	077-475-2305 bunrisympo@rite.or.jp https://www.rite.or.jp/news/events/2024/12/co2_202525.html
第23回 成形加工実践講座シリーズ(材料編)(東京都とオンラインの併用)	2月6日(木)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-5436-9698) office@jspp.or.jp http://www.jspp.or.jp
第200回腐食防食シンポジウム(東京都)	2月6日(木)	公益社団法人 腐 食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/200.html
水素・ガスエンジン関連施設見学会(神奈川県)	2月21日(金)	(一社)日本エネ ルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/1009/
第16回日本複合材料会議(JCCM-16)(東京都)	2月27日～3月1日 (木～土)	日本複合材料学 会, 日本材料学会	03-5981-6011 (03-5981-6012) jscm@asas-mail.jp http://www.jscm.gr.jp/conference/jccm-16/
[講習会]機械学習×熱・流体工学の最先端(オンライン)	2月28日(金)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7612 (03-4335-7618) miyata@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/25-16/
種子島シンポジウム2025(鹿児島県)	3月1日(土)	種子島オープンプ ラットフォーム	03-5841-7937 rieko.shirae@ifi.u-tokyo.ac.jp https://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/soshiki/keizaikankoka/shoukouseisaku/ecoiland/symposium/symposium/index.html
生産システム部門研究発表講演会2025(山口県/オンライン)	3月3～4日 (月～火)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7615 msd2025@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/msd/102_kouen25-6/
ISPlasma2025/IC-PLANTS2025(愛知県)	3月3～7日 (月～金)	公益社団法人 応 用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2025@intergroup.co.jp https://www.isplasma.jp/ (近日公開)
第21回キンカ高分子化学研修コース(大阪府)	3月10日(月)	近畿化学協会	06-6441-5531 (06-6443-6685) seminar@kinka.or.jp https://kinka.or.jp/event/2025/kobunshi21.html
コロナ先端技術講座2024 静的秩序および動的秩序を有するソフトマテリアル～人工材料から生体組織まで～(東京都)	3月14日(金)	日本化学会コロイ ドおよび界面化学 部会	03-3292-6163 jigyokikaku_02@colloid.csj.jp https://colloid.csj.jp/202411/2024hitech/

2024年度第3回晶析分科会(茨城県)	3月14日(金)	日本粉体工業技術協会晶析分科会	0561-34-4995 crystallization@noritake.com https://appie.or.jp/wp-content/uploads/2024/12/240314shoseki.pdf
第42回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月22～23日(火～水)	公益社団法人日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp
第62回日本伝熱シンポジウム/HTSJ国際伝熱シンポジウム(沖縄県)	5月14～17日(水～土)	公益社団法人日本伝熱学会	045-924-5016 (045-924-5016) symp2025@htsj-conf.org https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/htsj2025
第30回計算工学講演会(埼玉県)	6月4～6日(水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) conf.office@jsces.org https://www.jscs.org/koenkai/30/
日本コンピュータ化学会2025年春季年会(東京都)	6月5～6日(木～金)	日本コンピュータ化学会	080-2388-0894 scejoffice@scej.net https://www.scej.net/events/nenkai/2025sp/
International Symposium on Scheduling 2025(東京都)	6月28～30日(土～月)	スケジューリング学会	052-789-4239 (052-789-4239) office@scheduling.jp http://www.scheduling.jp/iss/2025/
第4回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議(英文名) The 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025)(兵庫県)	7月1～4日(火～金)	日本計算工学会(JSCES), 日本計算力学連合(JACM)	078-940-5541 compsafe2025@compsafe2025.org https://www.compsafe2025.org/
第62回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月2～4日(水～金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
第8回材料界面の評価と制御に関する国際会議 The 8th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2025)(山梨県)	7月8～11日(火～金)	粉体工学会	045-339-3959 045-339-3957 iccci2025@ynu.ac.jp https://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2025/
環境工学ワークショップ2025(IWEE2025) & 第35回環境工学総合シンポジウム2025(北海道)	7月18～21日(金～月)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 env-symp2025@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/env/iwec/2025/
先進赤外線計測技術と応用に関する国際シンポジウム(AITA 2025)(兵庫県)	9月15～19日(月～金)	一般社団法人日本非破壊検査協会	022-279-7862 (022-279-7863) aita@jsndi.or.jp https://english.jsndi.jp/aita2025/index.html
EcoDesign2025国際会議(14th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing)(東京都)	11月12～14日(水～金)	エコデザイン学会連合	03-5286-2147 ecodesign2025_secretariat@ecodenet.com https://ecodenet.com/ed2025/

化学工学会第90年会 参加募集

会場：東京理科大学 葛飾キャンパス(〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1)

※口頭の一部シンポジウムはオンライン参加も可能とする予定です

会期：2025年3月12日(水)～3月14日(金)

※シンポジウムSP-1は3月11日(火)実施予定です

懇親会会場：東京理科大学 葛飾キャンパス 管理棟1階「学生食堂」

懇親会日時：2025年3月13日(木)18:00～19:45(予定)

参加登録期間：第二期 2025年1月28日(火)～2月12日(水)23:59

第三期(含む当日) 2025年2月13日(木)～3月14日(金)12:00

大会WebサイトURL：<https://www4.scej.org/meeting/90a/>

※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

化学工学会第90年会は、2025年3月12日(水)～14日(金)の3日間(シンポジウムSP-1は会期前日11日(火)実施)、東京理科大学 葛飾キャンパス(JR常磐線(東京メトロ千代田線)「金町」駅/京成金町線「京成金町」駅下車、徒歩8分)にて開催されます。

本大会では、参加登録期間が三つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で併催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2025 (ICHES 2025)へもご参加いただけます。

奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いたします。

本大会の実施形態について

本大会ではオンライン開催を基本とし、口頭の一部シンポジウムのみライブ配信併用で実施する予定です。したがって、オンライン参加はライブ配信対象セッションに限られます。ご注意ください。

ライブ配信対象セッションについては、大会Webサイトをご確認ください。

なお、ライブ配信対象講演については自動公衆送信とみなされますので、発表内容に他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

なお、オンライン参加・オンライン参加に際して一切の録音・録画・撮影を禁じます。

懇親会

東京理科大学葛飾キャンパス管理棟1階「学生食堂」にて、会期二日目3月13日(木)18:00～19:45に立食形式にて開催いたします。奮ってご参加ください。

参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

第二期 1月28日(火)～2月12日(水)23:59まで
第三期(含む当日) 2月13日(木)～3月14日(金)12:00まで

開会式等<ライブ配信併用>

日時 3月12日(水)9:00～

- ◇開会挨拶
- ◇名誉会員推戴式
- ◇会長挨拶
- ◇学会賞等授賞式
- ◇学会賞受賞記念講演

企画紹介

詳細は、大会webサイトまたは次号(3月号)会告をご覧ください。

学会賞等受賞記念講演

- ◇学会賞(開会式で実施)
 - ・霜垣幸浩氏(東京大学)【池田亀三郎記念賞】研究題目「化学反応を利用した薄膜形成プロセスの論理的最適化に関する研究」
- ◇研究賞(関連セッションで実施)
 - ・井嶋博之氏(九州大学)【實吉雅郎記念賞】研究題目「機能性生体材料と細胞組織体を基盤とした実用的医用化学工学研究」
 - ・古山通久氏(信州大学)【玉置明善記念賞】研究題目「マルチスケール計算化学に基づくエネルギー・物質変換界面に関する研究」
- ◇研究奨励賞(関連セッションで実施)
 - ・甘利俊太郎氏(東京農工大学)【實吉雅郎記念賞】研究題目「高剪断場による核化の機能強化に基づいた新規晶析プロセスの構築に関する研究」

- ・平出翔太郎氏(京都大学)【玉置明善記念賞】研究題目「潜熱蓄熱材を用いた熱管理による圧力スイング吸着法の高性能化」
- ・村岡恒輝氏(東京大学)【内藤雅喜記念賞】研究題目「設計的合成のためのハイスループット計算によるゼオライトの原子配列解析」
- ・渡部花奈子氏(東北大学)【實吉雅郎記念賞】研究題目「ナノ・微粒子材料の局所集積化による新機能創成」
- ◇技術賞(産業セッションで実施)
 - ・岡部寛史氏、阿部紘子氏、田嶋直樹氏、山田和矢氏、堀本太一氏(東芝エネルギーシステムズ株式会社)業績題目「福島第一原子力発電所で発生する汚染水の処理技術」

- ・船津公人氏(奈良先端科学技術大学院大学)、金尚弘氏(東京農工大学)、田中雅紀氏(富士電機株式会社)、村上理彦氏(UBEエラストマー株式会社)、土井佑介氏(UBE株式会社)業績題目「包括的な機能を有するソフトセンサー設計ツールの開発」

- ◇女性賞(男女共同参画委員会企画「女性技術者フォーラム」で実施)
 - ・永合由美子氏(特定非営利活動法人女子中高生理工学キャリアパスプロジェクト)業績題目「日用品製品開発から次世代人材育成へ～社会課題に化学工学的視点でアプローチ」

- ・日出間り氏(名古屋大学)業績題目「複雑流体の流動挙動解明と制御に基づく革新的化学プロセスへの展開」

- ◇アジア国際賞(国際シンポジウムで実施)
 - ・Minkee Choi氏(Korea Advanced Institute of Science and Technology, KAIST)業績題目「Separately Storing Electrons and Protons at Ru Particles and Base Promoters to Facilitate Ammonia Synthesis」
 - ・Ho-Hsiu Chou氏(National Tsing Hua University, NTHU)業績題目「Design and Synthesis of Semiconducting Polymers for Solar-driven Hydrogen Evolution from Water」

- ・Xiaobin Jiang氏(Dalian University of Technology)業績題目「Membrane-based Crystallization Control and Separation Process Intensification」
- ・Zong Yang Kong氏(Sunway University)業績題目「Challenges & Opportunities of hybrid intensified reactive-extractive distillation」

第15回化学工学ビジョンシンポジウム「2036年のビジョン実現に向けて」<ライブ配信併用>

日時 3月12日(水)午後

主催 ビジョン推進委員会

化学工学会創立100周年となる2036年に向けたビジョン「化学工学会 VISION 2036」が2024年3月に発表されました。これからはどのようにしてこのビジョンを実現していくかを会員の皆さんと考えることが大事になります。そこで本シンポジウムでは、同ビジョンに関連する招待講演を通じて様々な視点からビジョン実現に

向けたアクションを考えるヒントを得ることを目的としていますので、皆さんのご意見や反応が何よりも重要です。奮ってご参加ください。

特別シンポジウム
「2050年カーボンニュートラルへの道」
＜ライブ配信併用・一般公開企画＞

日時 3月11日(火)[会期前日]午後
 主催 地域連携カーボンニュートラル推進委員会
 戦略推進センター CCUS検討委員会
 戦略推進センター SDGs検討委員会
 共催 一般社団法人触媒学会
 カーボンニュートラルの達成のためには、どんな社会にすべきかを検討・設計し、必要なプロセスを想定し、適切な要素技術を求めていく必要があります。化学工学会では地域産業および地域コミュニティとの連携強化により具体的なケーススタディ、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系の展開・深化の検討を進めております。

2020年3月以降、年会、秋季大会ごとに開催しております本シンポジウムですが、今回も、エネルギー・環境イノベーションとその社会実装について、会期前日の3月11日(火)午後、招待講演、依頼講演、パネルディスカッションを実施いたします。今回は、「カーボンインディペンデンス(炭素自立)ビジョン:CO₂排出削減が困難な産業の循環経済への変革 ver.2」の公表、および、産業間連携について議論したいと思っております。

なお、参加費無料の一般公開シンポジウムとなりますので、化学工学が挑む未来社会について多くのみなさまとともに語り、この活動を通じて学会全体の分野融合研究の推進と学術の発展に貢献することを期待しています。

特別シンポジウム
「化学工学分野における
スタートアップの可能性」
＜ライブ配信併用＞

日時 3月13日(木)午後
 持続的な経済成長の推進役として、スタートアップにかかる期待は大きい。政府は2022年を「スタートアップ創出元年」と位置付け、イノベーションの鍵となるスタートアップを5年で10倍に増やすことをめざし、5か年計画をまとめました。このような中、IT技術を活用するテック系スタートアップだけでなく、社会の根深い課題を先端的な技術で解決するディープテックスタートアップに対する期待が高まっています。テック系のスタートアップは数か月の開発サイクルで数年での上市、5年程度でのIPOやM&Aでのエクジットを目指します。これに対してディープテックスタートアップは、製品上市まで長期間が必要となり、開発に必要な資本も一桁以上大きく、研究開発人材と経営人材のミスマッチ、研究開発人材と出資者とのディスコミュニケーション、など様々な課題に直面します。本シンポジウムでは、スタートアップを取り巻く人財の課題、事業会社のオープンイノベーションへの取り組み、アカデミア発スタートアップの起業の課題、アカデミア発スタートアップの成長への挑戦などについて講演を頂戴する予定です。ディープテックのシーズをもつアカデミアの人材が集まる場である化学工学会の立場から、スタートアップを創出し、社会を変えていく可能性について議論します。

特別シンポジウム
「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行
ー持続可能で充足する食生活の探索ー」
＜ライブ配信併用・一般公開企画＞

日時 3月14日(金)午後
 主催 戦略推進センター SDGs検討委員会
 共催 産学官連携センター
 札幌宣言が目指す、人々の「健康、安心、幸福」を生活者視点から探索すべく、特に身近な「食生活」をテーマに、食の未来を講演と参加型ワークショップから描きます。講演では、食の持続可能性を実現しうる先端技術である培養肉から、従来からありつつも拡大が難しい昆虫食、そしてこれまでの食生活から食の「豊かさ」を探索するテーマまでカバーします。シンポジウム後半は、参加者とともに食生活の充足条件とサステイナブル化に向けた行動変容をテーマにワークショップを実施し、アクションに向けた契機を探ります。

国際シンポジウム
＜ライブ配信併用＞

◇Indo-Japan Joint Symposium on Chemical Engineering
 Date : Mar. 12 pm
 Organization : Indian Liaison Committee, Center for International Exchange
 A joint symposium between IChE and SCEJ. We invite researchers and industrial person from India to discuss the recent research topics and future prospects of chemical industry and chemical engineering research and education.

◇Systems Approach to Design of Sustainable and Intensified Processes

Date : Mar. 12 pm
 Organization : Division of Systems, Information and Simulation Technologies
 This symposium focuses on methodology for design of sustainable and intensified processes with various spatiotemporal scales from molecular reactions to transport phenomena, process systems, and social systems. We invite Dr. Zong Yang Kong of Sunway University, who has won the Outstanding Asian Researcher and Engineer in SCEJ, as the keynote speaker for process intensification. And we will hold discussions on future direction of multiscale analysis and design through the invited talks by domestic and foreign researchers in the field of chemical engineering and process systems engineering.

◇Cutting-Edge Design of Structural and Functional Controls of Materials

Date : Mar. 12 pm
 Organization : Division of Materials and Interfaces
 This symposium focuses on the material design connected to the interfacial property. In the symposium, we invite a distinguished professor, Prof. Ho-Hsiu CHOU of National Tsing Hua University (NTHU), who has won "2024 SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer" for the keynote lecture of this symposium. We also invite active researchers related to the design, synthesis, characterization, and application of cutting-edge materials. We hope this symposium will be fruitful and contribute to the promotion of interdisciplinary research and establishment of international networks between researchers working in this field.

◇Canadian-Japanese Symposium on Renewable Energy and Materials

Date : Mar. 13
 Organization : USA and Canadian Liaison Committee, Center for International Exchange
 Division of Chemical Reaction Engineering
 This is a collaborative forum designed to bring together experts and researchers to explore and discuss the latest advancements in chemical technology with a focus on green energy and materials for sustainability. This symposium emphasizes the integration of innovative chemical processes, environmentally friendly technologies and advanced materials for addressing global challenges in resources, green energy solutions and advanced materials. Key areas of interest for the symposium include, but are not limited to :
 Reactions, materials and green and renewable energy, Catalytic and functional materials for energy innovations.
 In this symposium, The SCEJ Award for Outstanding Asia Research Award lecture will be given by Prof. Minkee Choi (KAIST, South Korea) on heterogeneous catalysis, CO₂ capture, zeolite and other porous material design.

◇Advanced Separation and Reaction in Asia
 Date : Mar. 13 am

Organization : Division of Separation Processes
 Separation and reaction are key technology in chemical engineering. This symposium includes the advanced engineering of material preparation, separation process, and other engineering by young Asian researcher.

化学産業技術フォーラム

日時 3月12日(水)午後
 ※詳細は大会ホームページまたは3号会告でご確認ください。

産業セッション
＜ライブ配信併用＞

日時 3月13日(木), 14日(金)
 ◇化学業界が拓く新しい資源循環社会 ~技術革新と新たなサプライチェーンの構築~
 ◇生成AIの力で進化する化学産業
 ◇「化学関連産業の経営課題」化学関連産業の中長期経営戦略を考える
 ~「ものづくり」から「価値づくり(付加価値獲得)」へ~(仮題)
 ◇世界最先端のバイオエコノミー社会の実現へ
 ~未来へ繋ぐ日本のバイオものづくり~
 ◇2030年、2050年を目指した水素・アンモニア製造への取り組み

男女共同参画委員会企画
「ダイバーシティフォーラム」
＜ライブ配信併用・一般公開企画＞

日時 3月13日(木)午前
 産学界から講師を招き、男女共同参画に関して、ご自身の経験に基づいた講演を行います。併せて化学工学関連分野で優れた技術や研究業績をあげた女性に贈る女性賞の受賞講演を行います。その後「女性技術者の増加に対してどのような取り組みが必要か」をテーマに講演者の方を含めたパネラーによるパネルディスカッションを予定しています。

戦略推進センター
CCUS 検討委員会企画
「CCUS 検討委員会シンポジウム」
＜ライブ配信併用＞

日時 3月14日(金)午後

※詳細は大会ホームページまたは3号会告でご確認ください。

「若手研究者が考える
未来の化学工学研究」

日時 3月12日(水)午後

全国で活躍する様々な分野の若手の研究者・技術者にお集まりいただき、ポスター形式でリラックスした雰囲気の中で研究・技術紹介と意見交換を行います。最新の研究や現場での応用など幅広い話題を提供し、未来の化学工学研究を、次世代を担う若手が活力にあふれた発想に基づいて発信していきます。さらには、研究者・技術者同士のコネクションづくりにも役立つ場を提供します。

「粒子・流体プロセス部会
部会セミナー」
＜ライブ配信併用＞

日時 3月12日(水)午後

粒子・流体プロセス部会の各賞の表彰式および受賞講演です。

熱工学部会・エネルギー部会共同企画
「熱エネルギー技術の統合による
CO₂削減への挑戦」

日時 3月12日(水)午後

CO₂排出量削減の問題からエネルギー創出、利用における様々な研究開発が活発に行われています。エネルギー形態の一つである熱エネルギーは産業、民生において必要不可欠であるものの、貯蔵や輸送が非常に困難であり、低温の熱については利用されことなく捨てられています。このような状況においては熱効率の向上だけではなく、未利用の熱を無駄なく利用する手法やプロセス、またマネージメント技術を開発することもCO₂排出削減において重要となっています。そこで本シンポジウムでは、サーマルサーキットなどの熱利用プロセスや熱マネージメント技術、高効率熱利用に関するシンポジウムを開催し、熱利用に関する積極的な討論を行います。

参加登録に関する注意事項

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期は2025年1月27日で終了しております。第二期は1月28日～2月12日まで、第三期(含む当日)は2月13日～3月14日(金)までwebにてお申込みいただけます。第二期では第三期に対して懇親会費が割引になります。是非、第二期の事前参加登録をご利用ください。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例：第一期で大会参加のみ登録、第二期で懇親会を追加登録、はできません。また、第一期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第二期あるいは第三期に改めてお申込み、お支払いください。)

大会会場での参加登録は実施いたしません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらをご利用ください。

◇懇親会について

定員に達した場合は早期に締め切る可能性がありますので、参加ご希望の方は早期にお申し込みください。また、懇親会のみへの参加であっても大会参加登録が必要となります。ご了解ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期一週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内しますので、そちらに従ってお手続きをお願いします。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認します。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払いが確認できない場合は、個人会員資格でのお申し込みはできません。年会費をお支払いいただいってからweb上で確認できるまで二週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部 (<https://www.scej.org/>) にお願います。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は、本会2025年度(2025年3月～2026年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

参加登録のキャンセルおよび参加登録費のご返金は、第一期、第二期いずれでのお申込みかによらず、第二期締切日(2025年2月12日(水)23:59)まで受け付けます。参加登録webサイトにてお手続きください。第二期締切日以降、また第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申し込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇講演要旨の事前公開について

事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)に、大会webサイトにて講演要旨を事前公開します。公開日に、講演要旨をご覧ください。公開日のID、PWを事前参加登録された際に登録いただいた電子メールアドレス宛にお送りします。

本大会の講演要旨公開は、2025年2月26日(水)を予定しています。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子は別売りです(2,200円/部)。ご購入いただいた方には会場受付でのお渡しになります。現地に来場されなかった方は会期後に実行委員会までお申し出ください。第

三期では在庫がなくなり次第販売終了します。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を無料公開予定ですので、購入されない方はそちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

本大会から講演要旨集はUSBメモリでの提供(別売)から大会前のダウンロード提供(大会参加費に含む)に変更となります(USBメモリ版は作成しません)。大会に参加されず(無料参加登録者含む)講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円(税込)、本会非会員は23,100円(税込)で販売いたします。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には、講演プログラム集冊子(別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会参加費		
	第二期 (1/28～2/12)	第三期 (2/13～当日)	備考
化学工学会個人会員の方			
正会員	15,000円	15,000円	不課税
シニア会員	8,000円	8,000円	
永年会員	7,000円	7,000円	
教育会員	7,000円	7,000円	
学生会員	7,000円	7,000円	
ジュニア会員	7,000円	7,000円	
海外正会員	15,000円	15,000円	
海外連携会員	15,000円	15,000円	
海外学生会員	7,000円	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等			
法人会員(*1)に属する社員	18,000円	18,000円	不課税
懇話会会員	18,000円	18,000円	
部会個人賛助会員	18,000円	18,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	18,000円	18,000円	
(*1)維持会員、特別会員、特別地区会員			
他学会の個人会員の方等			
共催学会の個人会員	18,000円	18,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	15,000円	15,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円	7,000円	
(*2)AIChE：米国化学工学会、CIESC：中国化工学会、CSCHE：カナダ化学工学会、DECHEMA：ドイツ化学工学バイオ学会、KICHe：韓国化学工学会、TwIChE：台湾化学工程學會(略称アルファベット順)			
上記以外の方			
会員外	33,000円	33,000円	課税税込

懇親会費

会員資格	懇親会費		
	第二期 (1/28～2/12)	第三期 (2/13～当日)	備考
本会個人会員(正会員・教育会員・海外正会員・海外連携会員)	7,000円	8,000円	課税税込
本会個人会員(永年会員・シニア会員・学生会員・ジュニア会員・海外学生会員)	5,000円	6,000円	
本会法人会員に属する方、懇話会会員、部会個人・法人賛助会員	7,000円	8,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生以外)	7,000円	8,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	5,000円	6,000円	
上記いずれにも該当しない方	7,000円	8,000円	
(*2)AIChE：米国化学工学会、CIESC：中国化工学会、CSCHE：カナダ化学工学会、DECHEMA：ドイツ化学工学バイオ学会、KICHe：韓国化学工学会、TwIChE：台湾化学工程學會(略称アルファベット順)			

※定員に余裕がある場合は当日現地での受付を行う可能性があります。その場合の価格は10,000円(税込)均一・現金のみとする予定です。

講演プログラム集冊子

会員資格	講演プログラム集冊子		
	第二期 (1/28～2/12)	第三期 (2/13～当日)	備考
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	2,200円/部	2,200円/部	税込
本会非会員			

講演要旨集(データのダウンロード)

会員資格	講演要旨集		
	大会参加者	大会終了後 別途購入	備考
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	大会参加費に含む	12,100円/個	税込
本会非会員		23,100円/個	

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
 京王観光株式会社 東京第1支店
 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
 化学工学会 運営サポートチーム
 TEL：03-5312-6540 FAX：03-5379-0740
 E-mail：scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
 営業時間 平日10時～17時

◇その他に関するお問合せ
 化学工学会 第90年会 実行委員会
 E-mail：inquiry-90a@www4.scej.org

第27回化学工学会学生発表会 概要

主催 公益社団法人化学工学会
共催 同 北海道支部、東北支部、関東支部、
東海支部、関西支部、中国四国支部、九
州支部、人材育成センター

日時 2025年3月8日(土)9:30～
(開始時間は変更の可能性あります。)

会場 遠隔会議システムを用いたオンラインに
よるバーチャル会場

オンライン開催に関する注意事項

全ての発表をインターネット配信します。オン
ライン参加者は遠隔会議システムの環境準
備(カメラ、マイク;PC付属のものでも可;ヘッ
ドセットマイクが望ましい)が必要になりま
す。また、発表内容は自動公衆送信による再
送信とみなされますので、他人(共同研究先を
含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の
責任でそのことを含めた許諾を得る必要があ
ります。なお、一切の録音・録画・撮影を禁
じます。

内容 化学工学、エネルギー、資源、バイオテ
クノロジー、物理化学、有機化学、無機化学、
計算化学

一般発表プログラム 大会ホームページをご参
照下さい。

特別企画 「化学工学ってどんな学問? (CSR 委
員会企画)」「大学紹介」※詳細は決まり次第、
大会ホームページに掲載します。

早期参加登録 大会ホームページからお申込み
ください。参加費の振込に関する詳細はホー
ムページをご覧ください。振込は参加申込後、1
週間以内をお願いします。

早期参加登録締切 2025年2月14日(金)17:00ま
で(参加登録と参加費振込の両方が完了する必
要があり、これを過ぎると通常参加登録料金
となります。)

参加登録費

一般 早期4,000円(通常6,000円)
大学生 早期2,000円(通常4,000円)
高専生(4年生以降) 早期1,500円(通常3,000
円)
高校生および高専生(1～3年生) 早期500円
(通常1,000円)
高校教員 早期1,500円(通常2,000円)
なお、高校生と高専生(1～3年生)を対象にし
た団体割引を行います。但し、10名を超える

申込を所定のフォームにて一括してお申し込
みされた場合に限られます。その場合の参加
費はそれぞれ以下の通りです。

11～30名の申込に対し、20%引き(早期なら
400円、通常なら800円)

31～50名の申込に対し、40%引き(早期なら
300円、通常なら600円)

51名以上の申込に対し、60%引き(早期なら
200円、通常なら400円)

表彰 審査を行い、優秀賞及び奨励賞として表
彰します。(今回より奨励賞表彰者は一定割合
に限定致します)

問い合わせ・申込先

第27回化学工学会学生発表会実行委員会
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹
生命文京小日向ビル4F
公益社団法人化学工学会 人材育成センター
「学生発表会」係
E-mail : inquiry-stu27@www4.scej.org (※を半
角の@に置き換えてください)
ホームページ : [http://www4.scej.org/meeting/
stu27/](http://www4.scej.org/meeting/stu27/)

人材育成センター

「プロセス設計」講座
塔・槽、熱交換器の設計 編
(オンライン版第9回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委
員会

概要 本講座では、塔・槽のサイジング、熱交
換器の設計に関するプロセス設計の基礎につ
いて、演習問題を手計算で解きながら学んで
いただきます。

日時 2025年3月3日(月)、4日(火)、10日
(月)、11日(火)

対象 以下の何れかに該当される方
・塔・槽の設計基礎を学びたい方
・熱交換器の設計基礎を学びたい方
・化学・石油精製プラントなどに関連のある
初級エンジニア(1～5年程度の経験者)
・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講
予定者

受講のメリット

- (1) 蒸留塔の構造、塔径計算、ドラムのサイジ
ングを学べます。
- (2) 熱交換器設計の基本を学べます。
- (3) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者
の経験や受講目的などを把握し、講義の参考
と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められ
ます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teams を利用したオンラ
インで、週2回、4時間/回(目安として、講義
60～90分につき休憩を10分程度)のペースで、
計4回にわたり開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にな
らないような工夫を凝らして講義してゆく予定

です。

なお、以下 URL に記した注意事項にご同意い
ただけない場合は、ご参加をお断りさせていた
だきます。 [https://www0.scej.org/jinzai/seminar/
seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf](https://www0.scej.org/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf)

第1日: 3月3日(月)13:00～17:00

7. 塔・槽の設計、設計演習

第2日: 3月4日(火)13:00～17:00

7. 塔・槽の設計、設計演習

第3日: 3月10日(月)13:00～17:00

8. 熱交換器の設計、設計演習

第4日: 3月11日(火)13:00～17:00

8. 熱交換器の設計、設計演習

※関数電卓は各自ご用意下さい。

講師 経験豊富なエンジニア

白石浩氏(日揮グローバル(株)ETD部、上席
化学工学技士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最
終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に
復習していただき、講義内容の理解を深めて
いただく意図で、修了レポートを実施します。
合格ラインに達した方には修了証を授与致し
ます。(詳細は2024年4号会告6ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方に
は20ptを授与致します。また、修了証を授与
された方には更に10ptを加算致します。(詳細
は2024年4号会告6ページ参照)

募集定員 20名(定員になり次第締切)

受付締切 2月21日(金)

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎割* >

22,000円(本体20,000円)

個人正会員 44,000円(本体40,000円)

維持会員/特別会員の社員

55,000円(本体50,000円)

地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)

会員外 77,000円(本体70,000円)

* 技士基礎割は、以下の条件を満たす方が対象
となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを
完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情
報を確認、更新して下さい)
3. (開催日に)卒業または修了後5年以内の社
会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の「各種
申込」の「講習会申込」と巡って頂くか、下記
URLをブラウザに直接入力して頂き、該当す
る講座を選択してお申込み下さい。

[https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/
EventList.htm](https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm)

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生
命文京小日向ビル4F
E-mail : jinzai-seminar@www4.scej.org
TEL : 03-6801-5563(代)

「化学プラントの装置材料技術」
講座(第5回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委
員会

概要 化学プラントの装置材料で発生する損傷・
劣化現象やその制御や抑制方法について理解
していただき、それらを実際の設計、運転、
設備管理の段階で活用できるようにしてい
たいただきます。

化学会社で装置材料に関する課題の検討に経験を積んだ技術者が、設計や設備管理における材料技術に関して、事例紹介や演習をまじえつつ解説します。

日時 2025年4月22日(火)、23日(水)、【オプション：24日(木)PM】

対象 以下の何れかに該当される方
・複数年以上、化学プラントの研究、設計、運転、設備管理を担当した経験を有する方
・腐食を中心とした装置材料技術に関する基礎から応用の技術を習得したい方

受講のメリット

- (1) 化学プラントの装置材料における腐食を中心とする損傷、劣化現象に関する基礎的な知識、技術を習得することができます。
- (2) 材料技術を用いて、材料損傷や劣化を防止する基本的な設計、機器の製作、運転、診断、寿命管理等を行うことができるようになります。
- (3) 装置材料に発生する損傷及び材質劣化の豊富な事例について、発生機構、抑制策を、カラー写真とともに体系的に学びます。
- (4) 本講座では事前アンケートを実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teams を利用したオンラインで開催致します。

なお、以下 URL に記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。 <https://www0.scej.org/jinzai/seminar/>

seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

第1日：4月22日(火)9:30～17:00

1. 設備のリスク評価
2. 装置材料の損傷・劣化と寿命およびその分類
3. 材料の損傷・劣化および破壊現象
4. 金属腐食の基礎

第2日：4月23日(水)9:30～16:30

5. 装置材料とその特性
6. 防食設計と設計・製作段階での腐食制御
7. 酸環境での材料選定とアルカリ環境での腐食抑制策
8. 設備診断
9. 寿命予測演習

第3日(オプション)：4月24日(木)13:30～16:30

10. 共通的な損傷現象とその抑制策
- 講師 材料技術について経験豊富な技術者
中原正大氏(中原材料技術研究所、元旭化成(株)、博士(工学)、腐食防食専門士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では、受講者の方々に受講後に復習していただき、講義内容の理解を深めていただく意図で、修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は2024年4号会告6ページ参照)

継続教育ポイント オプションを受講されない方は受講証明書で20pt付与、更に修了証で10pt加算します。オプションを受講される方は受講証明書で30pt付与、更に修了証で15pt加算します。(詳細は2024年4号会告6ページ参照)

募集定員 20名(定員になり次第締切)

受付締切 4月14日(月)

受講料(消費税10%込)

個人正会員	44,000円(本体40,000円)
維持会員/特別会員の社員	55,000円(本体50,000円)
地区会員の社員	66,000円(本体60,000円)
会員外	77,000円(本体70,000円)

※第3日(10章・オプション)の受講を希望する場合は、下記金額が加算されます。過去に9章まで受講された方は10章のみ参加も可能です。

個人正会員【オプション】

個人正会員	11,000円(本体10,000円)
維持会員/特別会員の社員【オプション】	13,750円(本体12,500円)
地区会員の社員【オプション】	16,500円(本体15,000円)
会員外【オプション】	19,250円(本体17,500円)

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4F
E-mail : jinzai-seminar@attマーク.scej.org
TEL : 03-6801-5563(代)

地域 C T

関東支部

第32回 イブニングセミナー 「再生可能エネルギーとしてのアンモニア利用技術の開発最前線」

主催 (公社)化学工学会関東支部
協賛 化学工学会エネルギー部会、グリーンアンモニアコンソーシアム、エネルギー・資源学会、日本化学会、水素エネルギー協会、次世代アンモニア燃料コンソーシアム、石油学会、クリーン燃料アンモニア協会、日本燃焼学会、日本エネルギー学会、次世代火力発電技術研究組合、再生可能エネルギー協議会、日本機械学会、日本船舶技術研究協会、日本肥料アンモニア協会

化学工学関東支部では、世の中で話題となっているホットな技術を取り上げ、その分野に詳しい技術者あるいは先生に平易に解説していただき、理解を深めていただくセミナーを開催しています。

アンモニアは、昔から肥料、あるいは化学製品の基礎材料として利用されてきましたが、現在もアンモニアの大半が肥料の原料として使用されています。一方、安全に運搬する技術が確立されていることも、この物質の特徴となっています。

このようなアンモニアは、現在、再生可能エネルギーとしての利用が注目されています。そこで、今回のイブニングセミナーでは、(株)IHI：平山功一氏、AGC(株)：赤木亮介氏より、アンモニアのエネルギー利用技術の開発状況について説明して頂きます。

日時 2025年3月10日(月)16:00～18:00

会場 オンライン(Zoom)にて開催

参加費

正会員：2,000円
法人会員(協賛団体、後援団体を含む)：2,000円
学生会員：1,000円
サロメンバー：1,000円
会員外：5,000円

募集締切 2025年2月28日(金)

申込方法 関東支部ウェブサイト (<http://www.scej-kt.org>) の行事開催のご案内の「第32回 イブニングセミナー」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きます。必要事項をご記入の上、送信下さい。

支払方法 お申し込み受付後、1～3日程で、ご登録いただきましたメールアドレス宛に請求書をお送りいたします。

※締め切り後のキャンセルの場合には、参加費をご請求させていただきます。

問い合わせ 公益社団法人 化学工学会関東支部
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4階

TEL : 03-6801-5563, E-mail : info@scej-kt.org

プログラム

<開会挨拶>

16:00～16:05 開会の挨拶

<講演>

16:05～16:50

講演1「火力発電へのアンモニア燃料転換の取り組み」 株式会社IHI 平山 功一氏
二酸化炭素の排出を抑える様々な取組みの中で、次世代燃料に期待が寄せられています。その代表格とも言えるのが水素とアンモニアで、社会実装に向けた取組みが世界中で進められております。とりわけアンモニアは、輸送や保管が比較的容易であるため、今後のエネルギー供給における主役となる可能性を秘めています。アンモニアを燃料として利用するための開発過程と課題、世界初となる実機実証試験の結果、今後の展望についてご紹介いたします。

16:55～17:40

講演2「ガラス溶解炉における燃料アンモニアの利用」 AGC株式会社 赤木 亮介氏
AGCは、NEDOからの委託事業「燃料アンモニア利用・生産技術開発」に参画し、世界初となる実生産炉でのアンモニアを燃料に利用したガラス製造の実証試験に成功した。今後さまざまな条件下での実証試験を計画しており、アンモニア燃焼技術の活用範囲を見極めた上でガラス溶解炉への本格導入を目指している。今回は試験の概要、及び今後の展開に

ついてご説明します。
 <総論討論>
 17:40～17:55 総論討論
 <閉会挨拶>
 17:55～18:00 閉会の挨拶

東海支部

第127回東海技術サロン (CSTCフォーラム) ネイチャーポジティブと2030年 より先の未来のために科学は何が できるのか

主催 化学工学会東海支部・(公財) 中部科学技術センター・東海化学工業会
 協賛 静岡化学工学懇話会, 化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会

日時 2025年2月20日(木)15:20～19:00
 会場 会場・オンライン併用 ハイブリッド形式
 今池ガスビル 7F ダイアモンドルーム(愛知県名古屋千種区今池1丁目8-8)
https://www.gasbldg.net/hall/imaike/imaike_access.html
 交通 地下鉄東山線 今池駅 10番出口直結 JR千種駅 徒歩10分

2021年6月に英国で開催されたG7サミットにおいて「2030年自然協約」が結ばれ、「2030年までに生物多様性の損失を止めて反転させる」という世界的な使命(ネイチャーポジティブ)が表明されました。ネイチャーポジティブはカーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーに続く世界の潮流になりつつあります。

本講演ではSDGsの社会実装に実績を持つ、SDGパートナーズ有限会社の代表取締役CEOである田瀬和夫氏をお迎えし、「ネイチャーポジティブと2030年より先の未来のために、科学は何ができるのか」というテーマのもと、環境問題や持続可能な未来に向けた科学の役割について深く考える機会をご提供します。新しい時代に向けて、科学が果たすべき責任や、私たち一人一人ができることについて、講師の知見を共有いただける貴重な機会です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

15:20 開会挨拶
 化学工学会東海支部 支部長 山口 智大
 15:30 「ネイチャーポジティブと2030年より先の未来のために科学は何ができるのか」
 SDGパートナーズ有限会社 代表取締役CEO 田瀬和夫氏
 ご略歴：東京大学工学部原子力工学科卒。1992年外務省に入省。2001年より2年間、緒方貞子氏の補佐官として「人間の安全保障委員会」事務局勤務。その後、国際連合事務局、デロイトトーマツコンサルティングの執行役員を務め、2017年9月に独立しSDGパートナーズを設立。現在、事業会社であるSDGインパクト、Think Coffee Japan株式会社を含めた計3社の代表取締役。私生活においては9,000人以上のメンバーを擁する「国連フォーラム」の共

同代表理事
 17:00 懇談会

定員 会場参加 80名(定員になり次第締め切ります)

参加費 (消費税を含む)

	化学工学会会員 共催・協賛団体会員 (法人・個人会員)	会員外
講演会	4,000円	8,000円
懇親会	3,000円	3,000円

申込方法 下記東海支部ホームページの参加申込フォームよりお申し込み下さい。

*本イベントの参加お申込みは、Payventにて受付いたします。

(Payvent = 学会イベントシステム、決済運営会社：(株)Urbs)

*お申し込みと同時に参加費をお支払いいただけます(クレジットカード or 銀行振込)

*2/14(金)までのお申し込み、送金期限とさせていただきます。

申込先 公益社団法人 化学工学会東海支部
 〒466-8555 名古屋市昭和区御所町 名古屋工業大学
 生命・応用化学科化学工学研究室
 TEL：(080)4525-3070
 ホームページ：<https://scej-tokai.org/>

第59回化学工学の進歩講習会・ 2025年度ミキシング 夏期セミナー 「攪拌・混合技術の操作・ 設計基礎と最新情報」

主催 化学工学会東海支部, 化学工学会粒子・流体プロセス部会ミキシング技術分科会
 共催 東海化学工業会
 協賛 化学工学会粒子・流体プロセス部会 他

日時 2025年8月28日(木), 29日(金)
 会場 名古屋工業大学4号館1階ホール
<https://www.nitech.ac.jp/access/campusmap.html>
 交通 JR中央線「鶴舞」駅 名大病院口下車 東へ徒歩7分
 地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅下車 東へ徒歩13分
 方式 会場とZoomライブ配信を併用したハイブリッド方式

攪拌・混合技術はあらゆる産業で用いられている基盤技術です。非常にニーズが高く、本技術を身につければあらゆるプロセスでの生産効率の向上が見込まれます。また、化学工学会では化学工学便覧の改訂作業を進めており、その発刊に合わせて、執筆者を講師に迎え化学工学便覧の解説を兼ねた講習会をミキシング技術分科会とともに企画しました。このような講習会は今までに例はありません。書物を読んだだけではわからない攪拌に関するノウハウを、執筆者から直接聞くことのできる唯一の機会です。また、便覧に記載した基礎的なことだけでなく最新技術も合わせて講演していただきます。懇親会も企画しましたので多数の皆様の参加を期待しています。

第1日目 8月28日(木) (10:00～17:10)

1. 総論・攪拌装置の設計 (10:00～11:00)

- 千葉工業大学教授 仁志 和彦氏
 2. 静止型混合器 (11:00～12:00)
 名古屋工業大学助教 古川 陽輝氏
 - 昼休み -
 3. 均相系の攪拌 (13:00～14:00)
 神戸大学准教授 菰田 悦之氏
 4. 液液系の攪拌 (14:00～15:00)
 東京理科大学教授 庄野 厚氏
 - 休憩 -
 5. 気液・固液系の攪拌 (15:10～16:10)
 横浜国立大学准教授 三角 隆太氏
 6. 攪拌槽のCFD (16:10～17:10)
 福岡大学教授 鈴木 一己氏
 - 懇親会 -
 第2日目 8月29日(金) (9:00～16:00)
 7. バイオ：培養プロセスの攪拌 (9:00～10:00)
 佐竹マルチミクス(株) 加藤 好一氏
 8. バイオ：発酵プロセスの攪拌 (10:00～11:00)
 大阪工業大学教授 長森 英二氏
 9. スラリー：晶析プロセス (11:00～12:00)
 カツラギ工業(株) 對馬 一平氏
 - 昼休み -
 10. スラリー：塗料業界における着色顔料ベースの設計思想及び実践
 ～ハード面、ソフト面からのアプローチ～ (13:00～14:00) 関西ペイント(株) 神守 功氏
 11. CFD：格子法による流動解析 (14:00～15:00) (株)ダイセル 集堂 裕也氏
 12. CFD：粒子法による流動解析 (15:00～16:00) 室園科研(株) 室園 浩司氏
 ※プログラムの詳細は、化学工学会東海支部ホームページをご覧ください。

定員 現地150名, Zoomライブ配信 定員80名(定員を超えた場合にはお断りすることがあります)

*ビデオ会議ツール「Zoom」ライブ配信での参加の場合の推奨環境については、当該ツールをご参照下さい。Zoomで参加の方には申込締切後、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。注意事項は、別途参加申込者に連絡されるメールよりご確認ください。

*会場参加者にはメールにて参加証をお送りいたします。参加証は当日ご持参下さい。

参加費 (消費税、配布資料を含む。オンライン参加の場合も同一金額です。)

化学工学会正会員 30,000円, 化学工学会法人会員社員/共催・協賛団体(個人・法人)会員 35,000円, 化学工学会学生会員 20,000円, 会員外 70,000円

懇親会費 3,000円(消費税を含む)※参加希望者のみ

名古屋工業大学 大学会館(生協)1階 Skyカフェテリア

申込方法 下記ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」にてお申し込み下さい。

<https://scej-tokai.org/>

本イベントの参加申し込みは、Payventにて受付いたします。

お申し込みと同時に参加費をお支払いいただけます。

申込・支払期限 2025年8月8日(金)

問合せ先 化学工学会東海支部
 〒466-8555 名古屋市昭和区御所町 名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内
<https://scej-tokai.org/> TEL：080-4525-3070

部 会 C T

化学装置材料部会 公開講座

主催 化学工学会化学装置材料部会

当部会では化学装置材料に関する啓蒙活動を実施しております。今回は、化学装置の腐食において問題となる、接合部の腐食に着目し、近年の研究内容や最新の知見について紹介しながら、化学装置などの腐食対策の向上を目的とする公開講座を開催いたします。

日時 2025年2月13日(木)15:30~17:00

場所 東京科学大学 大岡山キャンパス 南1号館 215号室 および オンライン会議

講師 東京科学大学 物質理工学院 材料系 金属分野 多田 英司 教授

参加費 5,000円

申込締切 2月6日

申込・問合せ先

参加をご希望の方は、①お名前②ご所属③連絡先(所在地, TEL, E-mail)をご記入の上、下記連絡先にE-mailにてお申込みください。
化学装置材料部会 腐食分科会事務局
神田 泰寛 (三井化学(株))
E-mail: Yasuhiro.Kanda@mitsuichemicals.com

化学工学会エレクトロニクス部会 2024年度第6回定期講演会 (見学会付き)のご案内

- ・当部会恒例の定期講演会を開催しますので、ご案内致します。今回は講演(現地+Zoom)に加え現地参加の場合は施設見学会にも参加いただけます。
- ・現地参加は見学の都合で参加者数を30名程度に限定しますので、お早めにお申し込みください。(Zoomで講演会のみ参加については100名まで)

1. テーマ 講演「4大学コンソーシアム・クリーンルームを利用したデバイス開発～センサからアクチュエータまで～」及びナノ・マイクロ産学官共同研究施設(NANOBIC)/量子コンピュータの見学～
2. 開催日 2025年2月26日(水) 見学会参加の場合13:30～、講演は15:50～
3. 会場 新川崎創造のもり (JR横須賀線新川崎駅から徒歩10分、JR南武線鹿島田駅から徒歩15分)
4. プログラム
13:30～15:30 見学会(現地参加の場合)
NANOBIC施設/量子コンピュータ紹介と見学

15:50～16:50 講演会(講演会のみZoom参加する場合)

「4大学コンソーシアム・クリーンルームを利用したデバイス開発 ～センサからアクチュエータまで～」

慶應義塾大学 理工学部

システムデザイン工学科 教授 田口 良広様
17:30～技術交流会

< <https://www.scej-ele.org/contents/04.html> >

5. 参加費

エレクトロニクス部会会員, 化学工学会会員, 学生: 無料, 一般の方: ¥3,000
技術交流会参加の場合は, 実費を申し受けま
ず(¥4,000～¥5,000程度を予定)。

6. 申込方法

下記内容を記載し, メール(hmaeda@sumibe.co.jp)にてお申し込み下さい。

ご氏名:

ご所属:

メールアドレス:

参加形態: 現地参加 / Zoom参加(講演会のみ)

(現地参加希望がダメだった場合, Zoom講演参加: 申し込む / 申し込まない)

会員資格: 部会会員 / 化学工学会会員 / 学生 / 一般

技術交流会: 参加 / 不参加